

## 「里小学校の磯餅焼き伝承活動の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立里小学校

### 2 学年・人数

小学1年生～6年生（計52人）

### 3 日時・場所

実施の日時・場所 令和2年2月5日（磯餅焼き）里海岸

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

#### （1）名称

磯餅焼き（いそもちやき）

#### （2）由来

110年以上前から里地域で行われてきた行事である。日頃の海の恵みに感謝し、お世話になっている海の神様にお礼をする行事である。

#### （3）構成等

焼いた餅を持った子供たちが、「オーミのジュウグサマ（海の竜宮様）ミナもトラッシュアレ（ミナも取らせてください）イオもトラッシュアレ（魚も捕らせてください）オイガダンダーキ（わたしの首ぐらいまで）オンブクルイトコイマデ（そのような深いところまで、餅が届くまで）」と言いながら全員がお唱えをして餅を海に投げる。

### 5 保存会や地域との連携の具体

地域の高齢者クラブに学校から依頼をし、学校職員と共に瓦を使ったジロ（かまど）を海岸で準備する。各家庭から子供たちが、切り餅、丸餅を持参するほか、高齢者クラブの方々も栗餅、コッパ餅、ヨモギ餅を持参してくださる。持ち寄った餅は、高齢者クラブの方々もジロで焼き、子供たちに振る舞ってくださる。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

全学年「ふるさと・コミュニケーション科」の授業として位置付けているため、新年度の教育課程編成が完了した時点ですぐに、高齢者クラブ会長に教頭から日時の連絡を行う。実施の1か月程前には、高齢者クラブ会長が来校され、ジロに使用する瓦の状態や当日の配慮事項を確認する。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【1年生児童】

うみにもちをなげるのが，とてもおもしろかったです。おもちもおいしかったです。

### 【4年生児童】

おじいさん，おばあさんたちとたくさんお話しができて楽しかったです。里の昔の様子をたくさん聞くことができました。

### 【6年生児童】

海の恵みに感謝しながら，餅を投げることができました。「磯餅焼き」は昔から伝わる里の大切な伝統だと思います。自分たちも大人になったらしっかりと受け継いでいきたいと思っています。

### 【保護者】

私が子供の頃は，各自治会で子供会が何日も前から濱に出てちょうどよさそうな石を集めてジロを作ったり，焚き物幼の流木を集めたりするものでした。今は，子供の数が少なり各自治会で行うことが難しくなったので，学校の授業として地域の伝統行事を思ってくださいていることには大変ありがたいと思っています。

### 【高齢者クラブ】

私たちが子供の頃は，兄弟が多くて正月に餅をそんなにたくさん食べられないものでした。ただ「磯餅焼き」の日だけはお腹いっぱい食べられるので，この日が正月みたいでうれしかったものです。今の子供たちにとっても，同じようにうれしい一日となってくれるといいなと思いながら協力させていただきました。私たちが焼いた餅をおいしそうに頬張る子供たちを見ながら，とても幸せな気持ちになりました。

### 【教職員】

地域の伝統行事を通じて，子供たちと地域の高齢者が交流できることは，とてもよいことだと思いました。また，地域行事の由来をしっかりと理解した上で，受け継ぐ機会となったことも大変よかったです。